

第4回 第4分科会会議録（概要）		場 所	新宿区役所第2分庁舎 1-⑦会議室
日 時	平成17年8月12日 午後18時40分～午後20時45分	記録者	【学生補助員】 洪、伊藤
		責任者	区事務局（熊澤）
会議出席者：39名 傍聴者：2名 （区民委員：34名 学識委員：1名 区職員：4名）			
■配布資料 ①第4回第4分科会進行次第 ②代表者会議 まとめ資料 ③今後の進め方（案） ④第3回第4分科会議事録（概要） ■進行内容 1 配布資料の確認 2 本日の進行について 3 「新宿区の環境の特徴を考える ～現状と課題の把握」課題の絞込み 4 グループ分け 5 事務局からの連絡事項 6 質 疑 ■会議内容 【発言者】●：区民委員、◎：学識委員、○：区職員 0. 開会（○：説明） それでは、第4分科会今回が第4回になりますけれども、開会します。まず資料の確認をしたいと思います。			
1. 配布資料の確認 ① 進行次第 ② 代表者会議 まとめ資料 ③ 今後の進め方 ④ 第3回第4分科会議事録 2. 本日の進行について 前々回から取り組んでおります新宿区の環境の現状と課題、これについて課題の絞込みをしたいと思います。8月5日に各グループの代表者にお集まりいただいて議論いたしました。その報告を吉田先生にお願いします。そして、あくまでも案ですが、今後の第4分科会の進め方について提案させていただきたいと思います。その後、課題ごとにグループ分けをしたいと思います。その後事務局からの連絡事項がありまして、20時40分を目途に進めさせていただきます。よろしくお願いたします。それでは吉田先生お願いします。			
3. 「新宿区の環境の特徴を考える ～現状と課題の把握」課題の絞込み ◎（吉田）：みなさん、こんばんは。8月5日には、7人の代表者にお集まりいただきまして、みなさんの発表を踏まえながら合体の作業をいたしました。7人の方々、ありがとうございました。7つのグループの思いをまとめることはとても難しいことなのですが、皆様の問題意識を一つの図にできないかと考え作業を行いました。また、今後の進め方のところで皆様とすり合わせを図ってまいります。区民会議ですので、基本的には区民の皆様が進めていくべきですので、徐々に運営など区民の皆様にはバトンタッチをしていきたいと思っています。そのためには、他の分科会とも情報交換していただければと思います。どの分科会もユニークな取り組みをしています。前回7人の方にも議論していただきましたが、7名の方以外にも更にとんどん自発的に活動していただき、深めていきたいと思っています。 （パワーポイントによる説明）			

それでは、お手元の資料を見てください。前回の発表や代表者会議を踏まえて検討に当たっての共通の方向性を出してみました。

「安全・安心・快適な環境のあるまちづくり」をめざす、とありますけれどもGグループが発表したことで、輿水先生もこの概念が大切だのご指摘されました。環境というのは様々な切り口があるという議論もありましたが、何でもかんでも取り入れることはできないという議論もありましたので、まず、「安全・安心・快適な環境のあるまちづくり」をめざすということを通じた方向性としてあげました。

次に、私たちの「身近な生活環境」を出発点とします。複数の委員から発言があったと思いますが、地球環境問題は大事ではあるが、まず身近な環境問題の方が取り組みやすいのではないかと議論がありまして、出発点としてこれを設定しました。

3つ目の「身近な生活環境」に関する取組は地域、国境を越えて地球全体の環境につながる構造を理解する。まず身近な環境問題から考えてみる、そして例えば温暖化に関する取組をチェックしていく、そうすることで身近な環境問題がいずれは地球全体の環境問題につながっていくという構造を理解していきましょうということです。

4つ目、他自治体等に共通する取組や施策は積極的に取り入れ、「新宿」独自の課題の抽出と取組を効率的に考える。輿水先生のお話で大都市「新宿」の問題は他の自治体も抱えているとありましたが、同じような問題に対する取組はどんどん取り入れ、「新宿」特有の問題があれば、それを考えていきましょうという意味です。

5つ目に大都市「新宿」の特徴を踏まえること、それは外国人居住者や昼間人口の大半を成す在勤者等の「半日区民」やターミナルを通過するだけの人をいかに巻き込んでいくかということです。

皆さんの発表を通じてこういうことに整理ができるのではないかと思います。

次にどういったことがキーワードとしてまとめられるか出してみました。「まち美化」などの下にある言葉は、グルーピングのキーワードです。皆様が発表していただいた言葉を元にしました。

まず、「まち美化・暮らしやすい住環境」。モラル、マナーなど衛生的な問題も含め身近な問題を発表された方が多かったと思います。また、大気汚染、水質汚染など少ない意見でしたがまとめました。

2つ目が「資源循環の促進」。リサイクル、エネルギーに関する意見が多かったと思います。3Rの取組もあげてみました。

3つ目に「温暖化防止の取組」。CO2や建築物、特に緑化に関する意見がありました。地球環境という話もありましたが、まず身近に取り組むことは何かということであげました。

4つ目に「緑化・生態系保全」。緑化とありますが、これは自然環境という意味でとっていただければと思います。新宿区内の緑をどう活かすかなどの視点があるかと思います。

「環境と経済の融合」は、学識委員としてあげさせていただきました。経済にも環境が必要ですし、環境にも経済が必要です。大企業は様々な取組をしていますが、たくさんの中小企業はまだ何も出来ていない状態です。それを支援するということと、身近なエコビジネスがあります。経済の視点で環境を見てみようということに入れさせていただきました。

6つ目「環境教育・学習」とありますが、しつけ、モラルなどを指摘する意見のほか、多くの意見では子供たちが楽しめるような学校での取組や地域でどう支援していくかというものもありました。環境保全活動・環境教育推進法などで地域での取組が求められているので、一つあげてみました。

7つ目に「3つの市民」の協働とありますが、これは寄本先生の言葉です。区民は生活者市民であるし、企業は企業市民、行政は行政市民であるということで3つの市民がどう協働していくか考えていくべきだということです。第6分科会のテーマでもありますが、まず第4分科会として考えてみてはという意見もありました。何にでも当てはまるテーマですので残り6つにかけてやるか、単独で勉強するかやり方はいろいろあると思

いますが、重要なキーワードの一つとしてあげさせていただきました。
今後この7つのキーワードに沿って勉強していったらどうかと思います。
次に考えるレベルについて出してみました。

まず、家庭、一人一人の意識、モラルの問題、企業の独自の取組などを一つの地区としたときに、もう少し広いレベルで考えたのが地域であると思います。新宿で地区という見方がありますが、もう少し広くとった地域という見方もしなければいけないのではないかと思います。区全体を見ているのが行政であると思います。私たちをサポートしているという位置づけです。新宿全体を見る目も必要であると考えます。3層構造を頭におきながら7つのキーワードを考えていければと思います。

そこで、7つのキーワード共通に踏まえる3つの視点があると思います。

「地域の特色・相違を踏まえる視点」で、例えば住宅地域と歌舞伎町とでは取組も違うということです。7つのキーワードそれぞれに必要な視点だと思います。

また、「新宿」の特徴（外国人、「半日区民」、通過者の存在）を踏まえる視点があると思います。

そして、時間軸＝過去から2025年までを見通した視点で、これは常に将来世代を考える視点を意味します。

皆さんの意見をまとめるのは難しかったのですが、まず、7つのキーワードでまとめたということ、次に考えるレベルとして地区、地域、区全体があるということ、共通の視点があるということで整理させていただきました。図の赤い線は3つの協働を示していきまして、そのためにはどうしたら良いのか考えたいと思います。7つのキーワードを全てやるかなど皆さんで決めていただければと思います。その後グルーピングをし、深堀をしていければと思います。

ご意見、ご感想をお願いします。

- 1：それぞれのキーワードを重複している問題はどのようにするのでしょうか？例えば温暖化防止の屋上の緑化などは緑化・生態系保全にも関わってくると思います。キーワードは完璧に別れるのではなく7つの視点から例えば大気汚染を考えるということによろしいのでしょうか。
- ◎ (吉田)：例えば緑化と言っても自然保全としての緑化、ヒートアイランド防止という意味での緑化などいろいろで各グループで考えてよいかと思います。その通りでよろしいと思います。(パワーポイント修正)
- 2：あまり狭い考えにとらわれない方が良いと思います。例えば公園という言葉は緑だけでなくまち美化、教育にも関わっていくと思います。公園の意味が変わっていく可能性があると思います。一つのグループだけでなく、更にグループを変えて考えていくのはどうでしょうか。
- ◎ (吉田)：皆さんはいかがでしょうか？キーワードを他のグループに持ってきて他の視点で議論するのも良いと思います。
- 2：追加ですが、常にグループは他のグループに情報公開、意見を聞くようにしてはどうでしょうか？
- ◎ (吉田)：ぜひ皆さんで決めてください。一般的に皆さんは関心が多くありますので一つのグループで良いということにはならないと思います。ただ、考え方をまとめていかないといけないので、軸足を置いたグループの中で深堀していただいて、常に情報公開をし、意見を聞く柔軟性を持つのは大事なことでないかと思います。皆さんいろんな情報をお持ちだと思いますので、それを披露していただく場を持っていきたいと考えます。
- 3：エネルギーは温暖化防止にも関わりがあるのでは？
- ◎ (吉田)：その通りだと思います。キーワードを整理しただけなので、これからもこのキーワードはこっちの方が良いというような意見がでてくるとと思います。
- 4：今後グループに入るとき重なる部分があると困ってしまいます。重なる部分は必ずあると思います。とりあえずグループに入って他のグループと情報共有していきたいと思います。
- ◎ (吉田)：おっしゃられたように他のグループで緑化等を含めた建造物への配慮が整理さ

れているけれども、うちのグループでも考えてみようということで取り込み、そこで議論が深まればとても良いことだと思います。

- 5：これからどういう風に進めるか提示していただければ考えやすいのでは。
- ◎ (吉田)：やり方に関しては皆様に決めていただきたいと思いますが、段階を踏んで代表の方を決めてその方を中心に議論をして進めていくことを考えていますが、こういう風に全体が集まる場ではざっくりばらんに意見を出していただければと思います。
- 6：この区民会議とは区民が議論する場だと思います。3つの市民の協働とありますけれども、協働の気持ちが足りないのは役所なのですよ。以前新宿区に地震の対策について聞いたとき具体的な答えはなく、表面的な答えしか返ってこなかったということがあります。またこういう場に区の責任者がいないということは、3者の意見というよりも区民の意見ということなのではないでしょうか？今の話を聞いていて矛盾を感じました。
- ◎ (吉田)：矛盾というのはどういう点でしょうか。
- 6：私たちだけで協議しても区民の意見であって3者の意見でないと思います。新宿区の方はいらっしゃるけれども中心に行かないのではないかと考えます。
- ◎ (吉田)：3者協働というのは環境においては、どこの自治体でもよく環境基本計画などで3者協働と書いてあるが、動いていないのが実態です。なぜ動いていないのかを考えることが大切だと思います。区民会議のあり方については、区職員の方にも発言していただきたいと思いますが、私たちの視点からでは、ら区民会議の場でなぜ区が協働できないのか、どうしたら上手くいくのかについて何かの提案できればと考えております。
- (熊澤)：私見ですが、その通りだと思います。区も市民の皆さん、企業の皆さんと連携をとりたくて上手くいきません。計画を策定する上で、まず、このような区民会議の場で皆さんからご提案していただくことが協働の第一歩であると思います。よろしくご理解いただきたいと思います。
- 6：私はその考え方で良いと思います。ただ例えば地震については事実を調査し発表するというような具体的な答えがほしいと思います。これはこれからの問題として提案していきたいと思います。
- ◎ (吉田)：情報を公開する、市民が共有するという点で提案していただければ良いのではないかと思います。
- 7：環境は範囲が広いのでグループでまとめていくのは効果的で良いと思います。まだキーワードとしてこういう切り口も必要なのではというものがあれば皆さんにあげていただければと思います。それで、3つの市民とありますがそれぞれのグループに関することなので、残り6つで考えていけば良いのではないのでしょうか？6つのグループがそれぞれ活動するのではなく、意見交換、情報交換ができればと思います。いろいろ関心はあると思いますが、一番関心のあるところに所属していただいて意見交換のときに意見を述べ、取り入れていけば良いと思います。
- ◎ (吉田)：貴重な意見をありがとうございます。(パワーポイント修正)
- 8：一つの問題が他のキーワードに関わってくることもあると思いますので一つの問題を全てのグループで討議されても良いのではないのでしょうか。
- ◎ (吉田)：ありがとうございます。
- 9：3つの市民、環境教育は他のテーマの中で議論してはどうでしょうか？また、平等に人が別れば良いですが、人が集まらないセクションは他のところが一緒にやる形ではどうでしょうか。
- ◎ (吉田)：進め方も大事な問題だと思います。
- 10：地震の話がありましたが、頭上の看板などの問題があると思います。また、公園の話もありましたが、町の広場のようなものが必要なのではないのでしょうか？こういうことを踏まえると町的美観というキーワードも出てくるかと思います。
- ◎ (吉田)：環境の視点から美観を考えることも大切だと思います。(パワーポイント修正)先ほどの意見でもありましたが、今後の進め方について、先ほどの紙の裏面を見てください。第4分科会としては月2回の会議ですが、グループが決まりましたら各グルー

プの自発的な活動もあるかと思えます。第4分科会として共通で進めなければならない仕事とグループでやる仕事に分けてみました。共通として客観的に新宿区の環境情報を押さえる機会が必要だと思えます。環境基本計画などが新宿区にはありますので、現実の施策にどう結びついているのか区の方にポイントを整理していただいて勉強したいと思えます。これを8月中に行えればと思えます。また、9月中にテーマごとに勉強会を開きたいと思えます。区民委員や学識委員、区職員が講師として、全員が情報を共有したいと思えます。次に行政評価です。きちんと評価したものをどう活かしていくか、行政だけでなく区民も考えていくことが大切だと思えますので、区の方に最新の行政評価について教えていただきたいと思えます。そして10月中には第4分科会の世話人、まとめ役を決めていなくてはと思えます。12月には第4分科会として方向性のとりまとめができればと思えます。

グループとしては、8月中にテーマごとにグループ핑をし、役割分担をしたいと思えます。9月中には現地調査のスケジュールリングし、比較や分析のための資料、情報を収集したいと思えます。10月には現状の把握と課題の洗いだし、今までとは違ってグループで深堀をして現状を把握し課題を洗い出すことが重要なのではと思えます。また現地調査のレポートを作成、情報共有化などをしたいと思えます。市民、企業、行政がどう取り組んでいるのか、成果と課題を整理して何を将来目指すのかの材料を調えることが必要だと思えます。11月には各グループレポートをまとめ始めていただければと思えます。その後分科会として方向性を取りまとめていければと思えます。一応12月を目安にしています。こんな流れではないかなと思えます。まだ細かい点で、各グループで何をやるのかはそれぞれで決めていただければと思えます。ただ必ず班長さんを決めていただきたいと思えます。また、区職員の方には各グループに案内人として付いていただければと思えます。一応このような形で整理してみました。それでは、何はともあれグループ핑をしてみてもどうでしょうか。

- 11:7番目の3つの協働は他の6つのグループの中で検討すれば良いのではないかとありますが、残り6つについて皆さんに何のグループを希望されるか出していただいて人数の少ないところは結合して4つなどにして集中してやれば良いと思えます。また2ヶ月に一回くらいは意見交換を行い、全体的に意見も取り入れていければと思えます。

◎ : (吉田) ありがとうございます。

後意見は色々あると思えますが、それでは1回やってみますか。

それでは熊澤さんお願いします。

◎ : (吉田) 各グループのキーワードをあげますので、挙手をお願いします。

● : 私は循環型社会に興味があるのですがどこに入ったら？

◎ : (吉田) 1つのキーワードに入ったからと言っても、それにこだわる必要はありません。このキーワードをもとにやってみたいものをとりあえず選んでください。

● : 環境教育は？

◎ : (吉田) やりたいと言っていた方がいましたので、キーワードでやりたいと思えます。あまり深く考えないで下さい。

● : 1つのグループにしか入れないのか。

◎ : (吉田) とりあえず1つのグループに入ってください。限られた時間で深めるので、とりあえず1つでお願いします。

4. グループ分け

(結果)

1、まち美化	9人
2、資源循環	3人
3、温暖化	7人
4、緑化	11人
5、環境と経済の融合	2人
6、環境教育	3人

- ◎ : (吉田) 全部で 35 人は人数が少ない感じがしますが、今日いらっしゃらない方が 10 人前後いますので、最低限成立していると思いますがどうでしょうか。
- : 新宿の環境の問題は汚染とヒートアイランドの問題だと思うが、この原因は自動車とビルについてだと思うのだが、このキーワードではどのグループにいけばいいのかわからないので、1と3ばんに手をあげました。なので、このわけ方は私には不本意なのです。これだけ言っておきます。
- ◎ : (吉田) この問題は前回も考えたのですが、言葉の表現に苦労したので、「暮らしやすい住環境」にとりあえずいれました。ヒートアイランドも大気汚染も「暮らしやすい住環境」に関係あると思ったので入れました。
- : 単純にそれぞれをグループ化出来ないというのがこれで分かると思うのですが、政府レベルで環境に関連する3つの計画にそって見た方が、分かりやすいと思うのですが。政府の構造計画を尊重しながら 21 世紀を考えるのがいいのかなと思います。京都議定書と国土交通省の景観法、震災に関連する予防対策の3点に基づいてやっていけば、グループで分けた項目は全部含まれると思うのですが、ご検討をお願いします。
- ◎ : (吉田) ありがとうございます。
- : よく分かるのですが、決められたものを基準にしたら面白実が無いし、柔軟性がなくなるような気がするので、今までのものを基にしたらどうでしょう？
- : 法律の規制の中で新しい発想が生まれてきたら、面白いと思うので、私はあまり心配しておりません。
- ◎ : (吉田) ありがとうございます。お二人の考え方はもっともだと思います。前者は地球環境全体を見たものでありますが政府の限界 (Government reach) という概念があるとおり、政府の届く範囲の限界があります。環境はまさにそのとおりだと思います。地球環境を考えるのはもっともなんです、やってもらうのは1人1人の市民の方なので限界があるということ。一方で、後者の考えは前回までで皆さんで考えたものを基にして出来たキーワードなので、これを生かして生きたいと思います。それで、前者の考えも考慮していくのがいいかと思っています。
- : この6つで進めたときに、法律や国際条約等で決められているものは最低限考慮していかないといけない。また、新宿区独自のものを考え、また、法律では決められていないけど全国レベルで見たときに考えなくてはいけないもの、外国人の問題や新宿独自の問題をどうやって環境に結び付けていくのかを考えなくてはと思っています。
- ◎ : (吉田) ありがとうございます。私は、みなさん視点が違っていますが、これらのキーワードをどうやって生かしていくのかというのを考えてのコメントだと、考えておりますので、議論が活発になっていいのではと思っています。では、進め方についてご意見はありますか。
- : 私は全部に関心があるのです、他のグループに対して意見を言いたいのです。そして、それに反応して欲しいので、ご意見を聞かして欲しいのです。なので、是非とも皆さんの意見をお聞かせいただきたいと思っています。
- (拍手)
- : それに関してなのですが、適正なグループを作ること。そして、もう1つあるのですが、皆が2、3行の意見を出して、検討する。場合によっては出席するというのがいいと思います。
- ◎ : (吉田) お二人の意見は情報を「共有」しようというものだと思うのですが、正に共有は大切だと思います。情報を共有する手段は色々あると思うので、みなさんで活用して下さい。私もいい資料があればドンドン出したいと思うので、皆さんもこれはと言うものがあれば、出していただきたいと思っています。
- とりあえずはこの6つのキーワードで進めたいと思っています。そして、その各チームごとに柔軟にやればいいと思います。また、テーマごとに勉強会や情報交流会を開きたいと思っています。なので、みなさんもそういった情報があれば提供してください。
- : 情報共有は大変大切だと思うが、区の HP で書き込むことが出来れば大変やりやすいと思うのですが。

- ◎ : (吉田) 区の方は対応が難しかったのでしょうか。いかがですか。
- : IT関係についてなのですが、現状では難しいと言う事です。まず1つは情報格差(Digital Divide)というのがございます。パソコンが使えない方にどうやってフォローしていくかという問題があります。また、個人情報保護の観点からも問題があり、検討はしておりますが、現状では難しいということでございます。
- ◎ : (吉田) ヤフーのブリーフケースを活用していくのも有効かと思えます。この個人情報保護は相当に気を配る必要があります。
- : 会場についてなのですが、今回はもっと人が増えると思うのでここだと狭いと思うのですが。
- : この2回にある2-1の会議室をあたってみます。
- : エコギャラリーが自由に使えると聞いていますが。
- : 研修室は有料なのですが、区が使う場合は無料で使えます。ただ、事前に早めに連絡しないと部屋を確保出来ません。
- : 夜は女性は特に危ないのですよ。
- : では、昼間でも構わないが、将来的に活動していくときに必ず必要になると思うので、区の方で場所を用意していただくと助かります。: 私の体験的に2, 3回やってみると流れが分かると思いますので、まず2, 3回やってそれから考えてみてはどうでしょうか。あわせて、新宿区では基本計画がありますので、この基本計画という枠組みの中でどこまで議論したら良いのかも検討する必要があると思います。細かい話ばかりでは埒があかないので、基本計画に任せられるものは任せていくというのがいいと思っております。
- ◎ : (吉田) ありがとうございます。方向性を区の方に説明していただきたいと思えます。我々はグループの中で具体的に分析していくという方法がよいと思えます。まずはやってみたいと思えます。で、場所に関しては一度区の方に調べていただきたいと思えます。あと分科会も8回しかありません。そこで、情報共有していくのが大事だと思います。そして、グループワークをそれぞれでやっていただきたいと思えます。例えば、あるグループでワークするときに、他のグループと情報共有して、参加してもいいかと思えます。我々の作業には区の方は入らないで、情報は提供していただくということだと私は理解しております。作るのは私たちなので、色々な視点で話したいと思っております。
- では、一回分かれて班長を決めましょう。
- : 人数が少ないグループは大きいグループに入れて考えるのはどうでしょうか。
- ◎ : (吉田) ありがとうございます。これは、バランスの問題ですよね。そのグループの人が例え少人数でもそこでやりたいと思っているなら不満が出ると思うので、無視できないと考えます。
- : そうしたら少ない人数を合わせて一緒にしたらどうでしょうか。
- : 5と6のテーマが全然違うので意見が出せないと思うのですが
- : 内容は違うが人数が増えれば、いい意見も増えると思えますが。
- : 私は他のグループの方が、少ないグループに興味を持って移ってくれることを信じています。
- ◎ : (吉田) コントロールして効率的に議論していく段階ではグループの統合なども必要かと思えますが、まだその段階ではないと思えます。まずは皆さんの「やってみたい」という意思を尊重したいので、無理にくっつけない方がよいと考えます。
- : とりあえずこれでやってみたらどうですか。
- ◎ : (吉田) では、とりあえず分かれてみましょう。貴重品だけもって移動して下さい。
- (各班に分かれる)
- : それでは、グループごとに分かれていただきました。分からなくなるといけないので名簿を作りたいと思えます。用紙を配布しますので、氏名と連絡先(公表できるもの)を書いてください。
- ◎ : (吉田) はい。それでは書きながらお聞き下さい。10月を目処に班長の方を中心にやっていきたいと思えます。これ以上にみなさんには頑張っていたいただきたいと思えます。当面は

このグループを基本にして活動していくので、よろしくお願いします。10人ほどいらしていない方がいるので、この方々の意見を聞かないといけないのですが、とりあえず仮といたしましてリーダーとサブリーダーを決めていただきたいと思います。2人のところはどちらかになってしまいますが、これも運命だと思って、役職は均等に決めたいと思いますので、よろしくお願いします。決め方もルールはないので、自由に決めてください。ただ、ふお承知だとは思いますが、リーダーだからと言って何事も面倒をリーダーに押し付けることがないようにお願いします。リーダーはそのチームの取りまとめ役に徹し、基本的な役割はみなさんが同じだということをお願いします。

● : 今日いらっしゃる方を抜きにして考えると言うことでよいのですね。

◎ : (吉田) 先程も言いましたが、とりあえず暫定ということで決めてください。いらっしゃる方にも後で聞いて最終的に決めましょう。区の方から連絡するよりも、リーダーの方から連絡した方がやりやすいと思うので、暫定的にお願いします。

(リーダーが決定)

◎ : (吉田) はありがとうございます。全員が入ってからサブリーダーを決めたいと思いますのでとりあえず、リーダーだけ最低限決めていただきたいと思います。

5. 事務局からの連絡と質疑

○ : 用紙は回収させていただきます。次回からはこのチームで進めていきます。今回は8月27日13時半から15時半までです。さきほど、ここが狭いと言うことがございましたので、今回は勉強会が中心なので、2階のおおきな部屋になるかもしれません。どちらにしろ、1-⑦(今回と同じ)に来て頂ければ、ご案内しますので、暫定的に1-⑦ということをお願いします。

● : 部屋が狭いという意見がありましたが、こうやって場所を提供していただければ不満を言っている場合ではないと思います。私は、こうやって部屋を開放していただけることはありがたいことだと思いますよ。

● : 役所は経費削減をお願いします。

○ : ありがとうございます。私どももみなさんが会議をしやすいようにしますので、至らないことが多々あると思いますが、よろしくお願いします。

◎ : 最後ですが、今回は区の方に計画や白書を説明していただきますが、各グループで始めていいと思います。情報交換したり、意見交換したり、色々な交流をしていただければと思います。

そして、これは私の提案なんです、ノミネーション(酒を交えて意見を交わす)というおとり、環境に対して熱く話すのはどうでしょうか。

(拍手)

◎ : ありがとうございます。それでは、次回辺りに考えていますので、楽しみにしています。よろしくお願いします。

(拍手)

● : 次回のことで、今まで貰った資料の中で持ってきた方がいいものはありますか？

◎ : ではちょっと関根さんお願いします。

○ : 今まで資料をお配りしましたが、かなりのボリュームですし、今日欠席した人は持ってこない可能性がありますので、持ってこなくて結構です。こちらで必要な資料をまとめますので、持って来なくて結構です。

◎ : ありがとうございます。

○ : 先程吉田先生からグループワークをして構わないという話がありましたが、ではどこでやるのか、ということですが、ご案内していますとおり、区役所の地下1階に交流の場を設けております。あいにく、現在は使用している方が非常に少ないです。割と広い場所なので、何チームが集まっても十分使えると思いますので、そちらを自由に使えるのでお願いします。それでは、遅くまでかかりましたが、気を付けてお帰り下さい。傘などを忘れずにお願いします。それでは、ありがとうございました。

(拍手)